

当院で整形外科手術を受けられた患者の皆さまへ

手術室内での臨床工学技士による放射線照射についてのお詫び

2017年9月15日付、10月25日付でご案内させていただきました手術室内での臨床工学技士による放射線照射について、その後の院内調査で新たな事実を確認しましたので以下のとおりご報告をさせていただきます。

2017年12月の院内調査では、過去、退職した医師を含め、限られた整形外科手術においてOアーム型X線装置（下記写真）の照射ボタン操作でも医師の指示の下、臨床工学技士が行っていたことがあったことを確認しました。このOアーム型X線装置は、当院の手術室内にあるレントゲン機器で、Cアーム型X線装置と同じく患部に放射線を照射することができる機械です。放射線照射量（被曝量）は、Cアーム型X線装置と同様、医師の操作時と変わるものではありません。しかし、事実の判明に時間を要し、患者の皆さま、並びに関係者の皆さまにご不安を与えてしまったことをお詫びいたします。

今回の件についても、事実確認が出来た段階ですぐに保健所への報告を行い、保健所の指導を仰いでおります。度重なるご案内になりましたが信頼回復に向け、誠心誠意取り組み、安全で安心な医療が提供できるよう病院運営に努めて参ります。

Oアーム型X線発生装置



2018年1月16日

聖隷佐倉市民病院 病院長 佐藤慎一